

議会報告会報告書提出

7月に開催した議会報告会にご参加いただいた高校生から出されたさまざまな意見や要望を広報広聴委員会が「議会報告会報告書」としてまとめ、議長及び市長に提出いたしました。

今後とも議員一同、議会の活性化を図り、市民の皆様の負託に的確にこたえ、開かれた議会運営に努めてまいります。



滝田委員長から議長へ提出



市長へ提出

議会運営委員会視察報告

議会運営委員会

7月2日～4日(所管事項調査)

一、愛知県尾張旭市 「大学との意見交換会 について」

尾張旭市議会は、令和元年度の議会改革推進特別委員会において「市議会と高校・大学との連携」について協議し、次代を担う高校生と大学生に市議会及び市政への理解と関心を高めてもらうため、高校については「高校生議会」、大学については「意見交換会」を実施することとした。新型コロナウイルス感染症の影響により実施に至るまで時間がかかったが、令和4年度に市制50周年事業の一環として、大学との意見交換会を実施し、この意見交換会を県内外の若い有権者の意見を聴く、貴重な機会と評価していた。

二、愛知県知立市 「高校生議会、議会モニター 制度について」

知立市議会は、選挙年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近になった高校生に地方自治の関心を高めてもらうため、高校生議会を実施している。高校生議会では、高校生の視点で考えた課題等について、議員が協議を重ねている。議員活動の体験を通して、「若年層の投票率向上」そして「若者の立候補の増加」につながることを期待していた。

また、より市民ニーズを反映するため、議会・委員会・議員活動に対

する意見や要望等を聴取する議会モニター制度を導入していた。その大きな成果として、議会モニターから2人の市議会議員を輩出している。

三、静岡県湖西市 「高校生との意見交換会 (意見交換から請願提出へ) について」

湖西市議会は、選挙年齢が引き下げられたことを踏まえ、「若者の議会活動に対する認知度の向上」を図るとともに、「若者の考えを政策・提言に反映させる」、そして「若者がまちづくりを考える」きっかけづくりとするため、平成28年度から議員と高校生との意見交換会を開催していた。高校生の意見を発展させ、施策に取り込む仕組みが必要ではないかという課題から、令和3年度から年1回だった意見交換会を3回に増やし、意見の深堀を行い、最終的にはそれらの意見を「湖西市に将来住みたいと思えるまちづくり政策提言」としてまとめ、請願として提出し採択している。



湖西市役所にて